

小学生向け年金教育図書による効果的な広報 WEB専用学習まんが『年金のひみつ』（仮称）

令和2年12月17日
佐伯印刷株式会社

■事業趣旨

小学生を対象に、

- **キーワード**としての
- **制度**としての
- **義務**としての

「**年金**」の認知・定着

を目的とした「年金」をテーマとした学習まんが（電子版）を制作します。

読みやすい、理解しやすい「まんが」手法により、より多くの小学生が「年金」に対する興味のきっかけとなることをゴールに置いて制作を進めています。

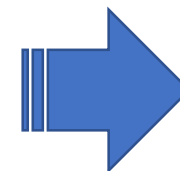
■制作体制と方向性

まんが制作は子ども向け学習漫画を多数手がけてきた学研プラスが担当します。

中でも「学研まんがでよくわかるシリーズ ○○のひみつ」は20年にわたり170以上のタイトルを全国の小学校へ寄贈してきました。

過去の知見を生かすとともに、小学生に信頼されているブランドを冠したタイトル『年金のひみつ』（仮称）として制作します。

子どもにとってシリーズの新刊タイトルと認識してもらえることが期待できます。



■まんがタッチ

複数の漫画家候補の中から、子どもが親しみやすく読みやすい漫画タッチという視点から、現役の小学校教員の意見をもとに決定。



同漫画家の作品例



登場人物サンプル
(小学5年生と町内会のメンバー)

■ストーリー構成

●登場人物

<かすみ小学校5年2組>

レン…（男子）明るくお調子者。深く考えるのが苦手。ストレートな物言いが持ち味。

リコ…（女子）やさしくてしっかり者。レンと幼なじみで性格を熟知している。

ヒナ…（女子）超真面目キャラ。実はレンの物怖じしない態度にあこがれている。

ハルト…（男子）物静かでシニカル。

<かすみ町の町内会メンバー>

ヒロシ（68）…リコの祖父。会社を定年退職した。国民年金と厚生年金を2階建てでもらっている。

ノブヨ（68）…お総菜屋さんを経営していた。今は娘に代をゆずるが、ときどき店頭に立つ。国民年金を受給している。

ナオコ（68）…主婦だったが、夫を20年くらい前になくし、一人で子どもを育て上げた。

シゲル（68）…会社員。年金の受給はまだ受けていない。

*町内会の4人は、かすみ小学校出身の元クラスメイトという設定ですが、物語の中盤まではそれは明かされないように展開します。

アオイ（40）…会社員。時短勤務中。交通事故の後遺症があり車椅子で生活。障害年金を受給している。町内会の事務作業の手伝いをしている。

マンガ中に細かい描写はしませんが、アオイのバックグラウンドはこうに考えています→事故の後遺症で足が不自由になり、障害年金を受給している。PC作業はできるが、車椅子での移動に時間がかかるので満員電車での移動は難しい。障害者雇用制度で時短勤務中。

●ストーリー概要

レンが通う小学校では、「町で活躍する人たち」というグループ学習の課題が出され、レンのグループは地域の町内会の活動に参加することにした。お年寄りと活動を共にするうちに、お年寄りからさまざまな話を聞く。たまたま話題に出た「年金」を通して、お年寄りたちがさまざまな人生を歩んでいることをレンたちは知っていく。レンのグループ学習は大成功。今までよりも少しだけお年寄りを身近に感じられるレンたちだった。

■ストーリー構成

章	テーマ	ストーリー概要	コラム案
プロローグ	「町で活躍する人たち」	レンの学校では総合学習の時間にグループ学習の課題が出た。「町で活躍する人たち」がテーマだ。まずはグループごとに、何を取り上げるかを話し合ったが、レンのいる3班はなかなか意見が出ない。というのも、リーダー（じゃんけんで決まった）レンが頼りにならないからだ。一方、他のグループは「交番で警察官のことを教えてもらおう」「いざというとき頼りになるのは消防官だね」など盛り上がっている様子だ。ハルトは「リーダーはレンくんではなく、ぼくがやろうか？」などと言い出す。 見かねたリコが助け舟を出して、ふだんの自分たちの生活を振り返ろうと声をかける。レンは毎朝、登校時に横断歩道に立つおじいちゃんのことを思い出す。「町内会」のビブスを身につけていた。リコはそれが自分の祖父・ヒロシであることを打ち明ける。ヒロシは町内会の役員で、地域を支えるさまざまな活動をしているという。「みんなで町内会のおじいちゃん、おばあちゃんにインタビューしよう！」とレンたちは盛り上がる。	
1章	「おじいちゃんのお小遣い？」	リコの手配でレンたちは町内会の事務所を訪れる。受付にいたアオイとあいさつをかわし、ヒロシに活動を手伝いながら話を聞かせてほしいと申し込む。ヒロシは快く受け入れ、近所の土手でのゴミ拾いや落ち葉の掃き掃除ボランティアに参加するように伝える。慣れない作業にとまどいながらも一生懸命取り組むメンバーたち。ヒロシは掃除の合間にみんなにペットボトルのホットレモンを自販機でごちそうする。ハルトがお金を払おうとすると、ヒロシは「毎月のおこづかいがあるからだいじょうぶ」と笑いながらいう。「おこづかいって、おじいちゃんになってももらうの？」とレンはおどろくが、ストレートな物言いに班のメンバーは「ちょっと！」「そんなこと聞かないよ、ふつう！」などと突っ込む（ギャグっぽく）。 ヒロシは65歳以上になってから、今までのたくわえに加えて、国民年金をもらっているという。国民年金のシステムについてヒロシがかんたんに説明すると、レンや他のメンバーたちは「知らなかった！」と声をそろえる。ヒロシは元会社員。20歳から65歳までサラリーマンとして働いていた。加入していた年金は、国民年金と厚生年金の「2階建て」だという。 そこへ町内会の一員であるノブヨが話に加わる。ノブヨはあつあつのコロッケをみんなにふるまう。「これもおばあさんのおこづかいで買ったの？」と、またレンが無邪気に聞くと、班のメンバーが「ちょっと！」と突っ込む（ここもギャグっぽく）。ノブヨはおどろくが、ヒロシが「ちょうど今、年金の話をしていたんだよ」と伝え、ノブヨも「正直に知りたいことを聞くのはいいことよ」とレンをほめる。「そうそう。私も年金をもらっているの。ただし、1階建てよ」ノブヨは商店街でお総菜屋さんをずっと自営業していた。「自営業が加入するのは国民年金だけだから、1階建てというわけ」とわかりやすく説明する。	(1) 「公的年金」とは（国民年金、厚生年金、私的年金の種類などを概説） (2) 年金の種類（老齢／障害／遺族）

■ストーリー構成

章	テーマ	ストーリー概要	コラム案
2章	「人生は何があるかわからない!？」	町内会事務所にもどると、ナオコが裁縫でお手玉を作っていた。児童館のお祭りで昔あそびのコーナーを設置する予定で、ナオコがお手玉の指南をするという。レンたちも手伝いながら話を聞く。ナオコは手芸が得意で昔から洋服やかばんも自分で仕上げることもある。今でも地元の手芸屋さんで、かわいい布を衝動買いしてしまうことがあるようだ。お金の話になり、（レンがまたおこづかいのことを聞くかもしれない…）とレンの口をおさえる準備をするリコやヒナ。しかし、「年金はもらっているのですか？」と、クールなキャラのハルトが聞くのでおどろく一同。ナオコも絶句する。そばにいたヒロシやシゲルが「ちょうど年金の話をしちゃったもんだから」と笑う。ナオコは、自分がもらっているのは遺族年金だという。ナオコは専業主婦だったが20年前に夫を病気でなくし、遺族年金をもらうことになったのだ。「ナオコさん、そうだったんですか。」とアオイが車椅子でやってきて話に割って入る。「私も障害年金を受給しているんですよ。だって、ふつうに働こうと思ってもなかなか難しいじゃないですか。」などと、ペラペラと話し始める。アオイは交通事故の後遺症で車椅子生活を送っているという。ナオコは「私だって、子どもがいるのに大変だったのよ……」などと話し、ナオコとアオイは競うように苦労話に花を咲かせる（ネガティブにならないようにします）が、レンたちが何も言い出せないのに気づき「とにかく人生って何があるかわからないのよ!」と、笑い合う。レンたちは戸惑いながらも、明るい二人につられて、つい笑顔を見せる。	(3) 年金の仕組み（賦課方式や年金が長期的に継続できるかのチェックの紹介（ごくかんたんに））
3章	「おじいちゃんおばあちゃんは元クラスメイト!」	アオイが用があると事務所を出ていくと、入れ替わるようにシゲルが大きなダンボールを持って現れる。力強くダンボールを机におき、中からミシンを取り出すシゲル。ナオコのお手玉作りために使わなくなったミシンを用意したという。「このために、会社を早く切り上げたんだ。」とシゲルが言う。「会社!？」と思わず口にするリコ。「つまり、年金じゃなくしてお給料をもらっているんだね…」などレンはこっそり話すと、気づいたヒロシが「シゲちゃんはまだ現役だからね」と声をかける。「ヒロシったら、何こそそしているんだよ?」（シゲル）「今日はノブちゃんも来ているのよ」（ナオコ）などと、親しく話し始める。4人はかすみ小学校の元同級生ということが明かされ、おどろくレンたち。ノブヨが「今日は年金の話までしちゃって盛り上がったのよ。」という、シゲルは「ぼくはまだもらっていないんだ。この年齢でもバリバリ仕事を続けられてお給料があるからね。年金はまだ先のばしにしているんだよ」と答える。「年金もいろいろ、人生もいろいろ」とレンが言うと、笑い合う一同。ヒロシたちの元同級生トークがはじまる。	(4) 年金の加入の仕方（年金はいつ入るのか、どのように入るのか?を簡単に説明）
エピローグ	「ぼくたちの何十年後は……?」	レンたちは帰り道に「課題はこれでばっちりだね」「勉強ってより、いろいろなことを知れて、おもしろかった」「ぼくたちもヒロシさんたちみたいに、何十年後かに集まっているのかな?」「だといいな……」などと会話する。 ある日の学校（11月30日）。グループで発表準備に入る。模造紙に「町で活躍する町内会のみなさん」と大きく見出しを書くレン。いろいろな話し合いをしながら模造紙を埋めていくメンバーたち。グループで発表して拍手を受けるレンのグループ。レンは照れ笑いをする。 夕暮れ、だれもいなくなったクラスの壁に、模造紙が貼られている。片隅に町内会の4人と班のメンバー4人の集合写真がある。「おじいさん、おばあさん、ありがとうございました! 班長より」と書かれてある。 別の日。リコはお総菜屋さんでコロッケを買い、店に立っていたノブヨにあいさつをする。ハルトは手芸店でナオコといっしょに生地を選ぶ。ヒナは新聞を見てシゲルが出ているのを発見しておどろく（「いつまでも仕事を続けたい」というような記事）。レンは土手で落ち葉掃除をするヒロシを見かけ手をふる。手を振り返すヒロシを見て、レンはうれしく思う。	(5) 年金の受給要件

■書籍ローンチ（公開）

学研プラスの関連会社が管理する児童・生徒向けポータルサイト「キッズネット」内で公開します。



ひと夏 約 2,000万PV

<参考>

全国小学校児童数 約644万人

※文部科学統計要覧（平成30年度版）より

2019年7月
780万PV
2019年8月
1,200万PV



●閲覧時間

セッション継続時間…… 1分11秒

●ユーザーが訪れる時間帯

午前のピーク…… 11:00前後

↑学校からアクセスしている可能性

午後のピーク…… 20:00前後

↑自宅でアクセスしている可能性

●流入経路

GoogleとYahoo!からの
「検索」が約85%

「自由研究 5～6年」など興味のある
ワードで検索して、アクセスしています。

親のスマホや
学校のパソコンを使用し
「自由研究」「読者感想文」など
興味のあるキーワードで
検索してアクセス

学校の先生から「辞典」などの内容に関する
問い合わせも → 教材としてのニーズも高い



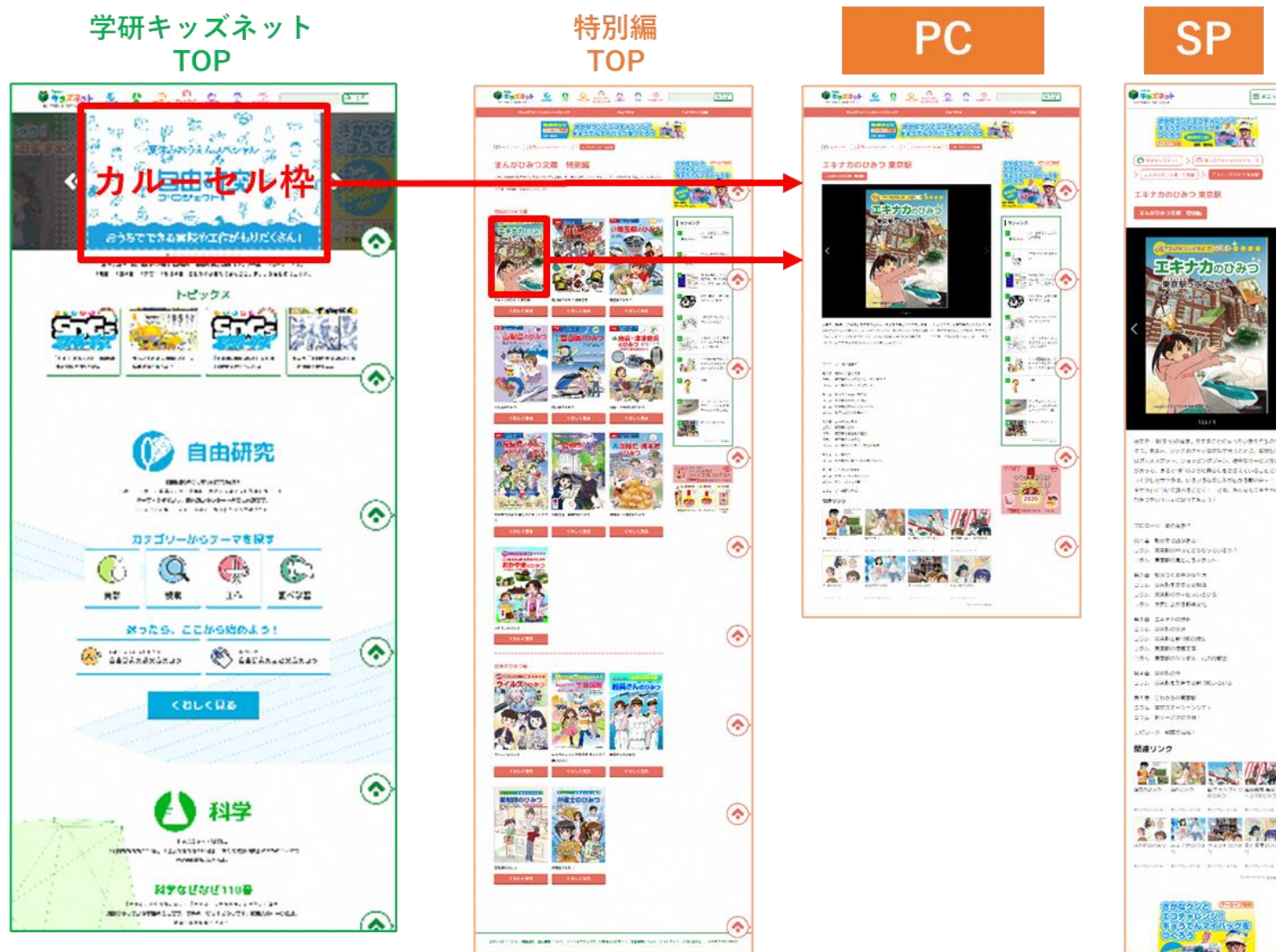
■書籍ローンチ（公開）

「キッズネット」内の「まんがでよくわかるシリーズ」電子書籍を公開するコーナー「ひみつ文庫」内で公開します。

ファインダビリティへの対応として、トップページのカルーセル枠にて6ヶ月間本書籍の公開を告知します。

⇒ 1 か月間 想定 5 万imp

2021年3月に全国約 20,000 の小学校へ、「キッズネット」内で『年金のひみつ』（仮称）が公開されていることを伝えるチラシを送付し、広く告知します。



各ページのトップに掲載

■ スケジュール

